

Der Wind

(風)

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上 1-1-1

江ノ電第2ビル7F

Tel: 0466-26-3028 Fax: 0466-27-5091

E-mail: jdgs@jcom.home.ne.jp <http://jdgs-shonan.ciao.jp/>

第18回定時総会開催



4月30日(日)午後1時、湘南アカデミアにおいて、総会開始、松野会長が挨拶の後議長に選出され、事務局担当昔農理事の進行の下議事次第に沿い、報告・議案の採決が円滑に行われました。詳細は8ページに掲載しております。

「湘南日独協会創立20周年並びにアムゼル創立15周年記念式典と音楽会」日程決定

来年2018年5月18日(金) 会場 鎌倉芸術館
2018年は年間を通じて記念の行事を計画しています。特別連続講演会、ワイマール独日協会との交流会、ドイツとの縁の深い地(案としてベルツ博士、ブルーノタウトの群馬方面)を訪ねる旅など、詳細決定次第お知らせいたします。

2017 湘南オクトーバーフェスト開催決定



日時 10月15日(日) 予定14時
会場 藤沢市民会館・第一集会展示ホール
詳細は次号でお知らせいたします。

皆様へ、ご協力お手伝いのお願いです

隔月発行の会報 Der Wind の発送(奇数月第2日曜日午前10時～)、国際交流会そしてオクトーバーフェスト、来年の記念行事等へのお手伝いを是非お願いいたします。皆様からのご連絡をお待ちしております。皆様とご一緒にさらに楽しい会にしてゆきたいと願っております。

年会費についてのお尋ねとお願い

平成29年度の会費を振り込み頂いた方でお名前の記載がない方が居られます。会の方へご連絡いただきたくお願いします。また、まだお振り込み頂いていない方は早めにお問い合わせいたします。

湘南日独協会の行事予定

■Schwatzerei am Stammtisch 第30回

日時 5月9日(火) 15:00~17:00

会場 藤沢商工会議所ミナパーク5階

会費 1,000円

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第49回

日時 5月21日(日) 15:00~16:30

会場 藤沢商工会議所ミナパーク5階

会費 1,000円

■5月例会 講演会

「欧州大学制度改革の現状-ドイツを中心として-」
ヨーロッパでは現在横断的な大学改革が進行中です。講師は比較教育の専門家、アメリカや日本と比較しての講演。ドイツのアビトゥーア(大学入学資格試験)の具体的内容も聞けそうです。

講師 木戸裕氏(元国立国会図書館専門調査員)
現在、大学入試センター客員研究員、東北大、上智大等の非常勤講師

日時 5月28日(日) 14:30~16:00

会場 湘南アカデミア 7階

会費 1,000円

懇親会 会費4,500円 会場 宗平

■Schwatzerei am Stammtisch 第31回

日時 6月9日(金) 15:00~17:00

会場 藤沢商工会議所ミナパーク5階

会費 1,000円

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第50回

日時 6月11日(日) 15:00~16:30

会場 藤沢商工会議所ミナパーク5階

会費 1,000円 (次頁へ続く)

新入会員紹介

敬称略

清水栄子

上條松和

■6月例会 講演会

「ようこそドイツへヴィルコメン ドイツ観光局が
勧める 2017 年のドイツ旅行」

ドイツ旅行の見どころ、事情、ご質問もどうぞ！

講師 西山 晃氏 ドイツ観光局ディレクター

日時 6月25日(日) 14:30~16:00

会費 1,000 円

会場 湘南アカデミア 7F

懇親会 会費・会場未定

■Schwatzerei am Stammtisch 第32回

日時 7月7日(金) 15:00~17:00

会場 藤沢商工会議所ミナパーク 5階

会費 1,000 円

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第51回

日時 7月17日(月) 15:00~16:30

会場 藤沢商工会議所ミナパーク 5階

会費 1,000 円

■7月例会 講演会

「岩倉使節団のドイツ回覧」

講師 岩崎洋三氏 NPO 法人米欧亜回覧研究会幹事
2000年にベルリンで開催された同使節団関係シンポ
ジウムにも参加。使節団訪問のドイツを中心に、同
じ訪問国米英仏との比較、更にビスマルクの教訓等
を交え、お話頂きます。

日時 7月30日(日) 14:30~16:00

会費 1,000 円

会場 湘南アカデミア 7F

懇親会 会費・会場未定

■特別例会 レクチャーコンサート

テーマ: 楽譜を読む “音楽は物理かも?”

講師 志賀トニオ氏 (ドイツのプレーマーハー
フェン歌劇場 指揮者兼コレペティトール)

Der Wind 掲載中の「劇場便り」にあるドイツの歌劇
場の現状のお話もうかがえそうです。

日時 7月11日(火) 14:00~16:00

会場 カトリック教会藤沢ホール

会費 1,000 円

懇親会 会費・会場未定

ワイマール独日協会バウハウス会長からの礼状

3月会報でお知らせしました、バウハウス会長の叙勲お
祝いに対する礼状が届きました。

Japanisch Deutsche Gesellschaft in Shonan
Herrn Präsident Yoshiaki Matsuno
Enoden Building No. 2, 7th Floor
Fujisawa-shi Kugenuma Ichigami 1.1.1
251-0025
Japan

Im Februar 2017

Sehr geehrter Herr Präsident Matsuno,
lieber Yoshiaki-san,
liebe Mitglieder der JDG in Shonan,

die Verleihung des Japanischen Verdienstordens, dem Orden der aufgehenden Sonne, goldene und silberne Strahlen, war für mich eine hohe Ehre und wird mir immer ein bedeutungsvolles Ereignis und Erlebnis bleiben. Es war für mich auch eine große Freude, das eindrucksvolle Zeremoniell und den Empfang in der Residenz der Japanischen Botschaft in Berlin zu erleben. In der Laudatio, die Oda-san für mich geschrieben hatte und Herr Reiber, Vizepräsident des Dachverbandes vorgetragen hatte, sind viele unserer gemeinsamen Aktivitäten und Veranstaltungen genannt worden. Sinnbildlich waren es viele Steine, die im Laufe der Zeit zu einer Brücke zwischen Japan und Deutschland und insbesondere auch zwischen der JDG in Shonan und der JDG in Weimar geführt haben. Ich durfte diese Brücke mit bauen – und das habe ich sehr, sehr gerne getan.

Vor einigen Tagen habe ich die 2 wunderschönen Kalligraphien mit der Post erhalten, die Sie mir geschickt haben. Ich habe mich so sehr gefreut und sie haben einen schönen Ehrenplatz in meinem Haus erhalten. Die Eleganz und Schönheit der Schriftzeichen zieht immer wieder meinen Blick an und wie von selbst entsteht ein glückliches Gefühl in mir. Für dieses außerordentliche Geschenk bedanke ich mich lieber Yoshiaki-san bei Dir und bei allen Mitgliedern der JDG in Shonan ganz herzlich. Domo arigato gozaimashita.

Ich gebe herzliche Grüße und alle guten Wünsche an Alle mit auf den Weg und freue mich auf ein Wiedersehen.

Herzlichst

Inggrid Reiber



拝啓、

日本の功労賞(旭日双光章)授与は私にとって大変な
名誉であり、今後の人生に於いても大変重要な出来事
経験であり続けるでしょう。又、在ベルリン日本大使
館での印象深い式典・レセプションも大きな喜びと
なりました。織田さん(湘南日独協会・織田名誉会長)
が書かれ、独日協会連合会の Reiber 副会長が披露され
た表彰スピーチでは私達が一緒に実施した諸活動・催
物が挙げられていました。これらの一つ一つは、永い時
間の経過を経て、日独間の又、とりわけ湘南日独協会と
ワイマール独日協会の間を結ぶ橋となった、その礎を
なす多くの石を象徴するものだと思います。私は皆さ
んと一緒にこの橋を築く仕事に参加できましたが、そ
の仕事を私は心から喜んで行って参りました。お贈り
頂いた2点の素晴らしい「書」は、数日前に届きまし
た。大変嬉しく、自宅の然るべき場所に飾りました。
その優美さは私の視線を引き付けて止まず、その度に
自然と幸せな気分になります。このような特別な贈
り物を頂き、松野会長及び会員の皆様に心より御礼申
上げます。どうも有難う御座いました。

心からの御礼を申し上げ、又、再会を楽しみにしてお
ります。

敬具

(訳 木原理事)

2月例会

Prof. Dr. Heinrich Menkhous 氏講演会

「ドイツ人法律家の見た日本国憲法」に参加して

会員 中島 敏



中島敏氏

2017年2月26日に湘南アカデミアで、ハイ
ンリッヒ・メンクハウス教
授の講演会が開催されま
したので、参加させていた
だきました。

演題は、日本国憲法についてですが、メンクハウス教授は、「ある不思議な国の憲法」ということで、ドイツ基本法やアメリカ合衆国憲法などと比べると日本国憲法は相当程度特異なきめ方になっている、とご指摘がありまして、大変興味深く思いました。

「領土」については各条規定でなく、前文で示されている。「日本国民は・・・われらとわれらの子孫のために、・・・わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、・・・」全土とは例えば尖閣諸島も含むものである。

「国民」については第10条。「日本国民たる要件は、法律でこれを定める。」

「権力」については各条規定でなく、前文で示されている。「・・・その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し・・・」

「国旗」については憲法上規定なし。国旗及び国歌に関する法律第1条により日章旗と定められている。

「国歌」については憲法上規定なし。国旗及び国歌に関する法律第2条により君が代と定められている。

「国家象徴」憲法上規定なし。此处で言う象徴とは天皇云々でなく、Wahrzeichen、標章、象徴の意味である。

「国家家紋」憲法上規定なし。事実上、七五桐となっている。しかし例えばパスポートには菊の御紋が入っているが、これは天皇家の家紋であって国家家紋ではない。

「国語・文字」憲法上規定なし。(文化庁国語審議会で模範形を提示している。)

「君主主義」憲法上明確な定めはなく、あいまいである。天皇が元首であると書いてない。第1章天皇の各条に代表という言葉は出てこない。代表、日本の代表として扱おうということにしているだけである。

「民主主義」国民権第15条。アメリカ合衆国から飛んできた規定である。

「中央集権主義」連邦制でないことを明示していない。地方自治第8章を認めているが制限的である。地方公共団体は・・・法律の範囲内で条例を制定することができる。(第94条)江戸時代は各藩自治の幕藩体制であった。

「法治主義」定めが曖昧である。コネ・友・派閥で法を排除しようとする。

「社会福祉主義」曖昧だが、一応規定はある。第13条幸福追求権、第25条2項社会福祉・社会保障・公衆衛生の向上及び増進に努める国の努力義務。

「平和主義」第9条。本当はアメリカは失敗したとおもったのだろう、朝鮮戦争勃発でこの規定を認めなければよかったとおもったことだろう。自衛隊は明らかに第9条2項違反である。直さなければならない。

「社会的市場経済制」定めが曖昧。一応28条、29条の定めがあるが、規定が足りない、不十分である。

「政教分離」第20条、第89条。国家神道の廃止の現れである。国家と、特に神社及び神道の典祀様式とを分離することは完全には行われていない。市が神社施設に無償で土地を貸与することにつき、最高裁判所は、違憲とする判決を出したが、原告にはピュロスの勝利しか分け与えられなかった。有償譲渡契約が締結され将来の不法が除去されただけであった。(配布資料44頁)

「基本権」そもそも憲法上 固有のメルクマールである基本権の他に義務も挙げられている。勤労の義務(第27条)、子供に教育を受けさせる義務(第26条2項)、納税の義務(第30条)。立憲主義によると義務の規定は可笑しい。基本権に関する具体的な制限が定められていない。第12条及び第13条の規定は権利の制限を公共の福祉に見出すものであるが、広範な価値判断の余地を残すものである。

「法人又は権利能力なしの団体(任意団体)」の基本権の定めがない。今後、AI(人工頭脳)、意識できるロボットなどに対する規制をどうしたらよいか?この場合、賦与されるのは、人権か国民権か?

「第97条は不変不易か?」・・・基本的人権は・・・現在及び将来の国民に対し、侵すことの出来ない永久の権利として信託されたものである。

「基本権の機能」防御権、関与権、請求権(国に対し

て損害賠償請求できる権利)、客観的価値観制度(国に対してだけという考え方から企業に対しても不平等はいけないよ、といえることでなければ可笑的。)、法律秩序の機関の存続保証。

「法律留保と制限の秩序」第13条公共の福祉、基本権を法律で制限することは憲法違反である。

「超過禁止と比例原則」適切性、必要性、妥当性をチェックする。

「中央集権主義と二院制」 米国側は日本を連邦制にしなかったので下院とは別の議院を予定していなかった。日本人が自ら上院を要請し、この上院(参議院)の存在を正当化した。偶然に下院とは異なる政治的多数が上院に存在する場合(ねじれ国会)に限り、下院への有効な統制が成り立つ。他方、下院は幾つかの事案については上院と異なる決定も行うことが出来る。

概ね以上がレクチャーの要点です。日本では日本国憲法が世界に誇れる立派な基本法(特に第9条)だと自画自賛する人が多いですが、今回のお話で、わが憲法がけっして完全無欠万能ではないことがよく分かりました。御質疑・御意見のなかで、憲法リテラシー(日本人のなかにはそもそも憲法のリテラシーがないのではないかという問題)の御指摘があったことを報告いたしておきます。 以上



写真

左: メンクハウス
教授

下: 会場と懇親会



ケンペル・パーニー祭参加

4月16日(土)第31回が開催され、湘南日独協会は賛助会員として、三谷副会長・大久保理事そして当協会会員の関口茂雄氏、中村武夫氏、伊東明氏の皆さんが参加しました。記念碑の前での式典では、会長の川崎英憲氏(当協会会員)の挨拶、いつもながらの地元の小中学生のプラスバンドの演奏に合わせ「箱根八里」を歌って祝い、会場を移し大場秀章東京大学名誉教授の講演「出島の三賢人、ケンペル、チュンペリー、シーボルトの箱根の自然描写を較べる」がありました。食事の前の乾杯発声は主催者からの指名で、大久保理事が、当協会からの皆さんと「Ein Prosit!」を歌い喝采を浴びました。

関口茂雄会員は「箱根を守る会」で長年活躍され、昨年同会の50周年記念誌へは「私と箱根との係り」と題して寄稿されています。

天候に恵まれ、名産のワカサギ料理を頂き帰路につきました。



挨拶する川崎会長 乾杯発声大久保理事

Deutsche Witze

„Wird die Operation sehr teuer?“ fragt der Patient.
Der Arzt lächelt. „Dieses Problem können Sie
getrost Ihren Erben überlassen.“

「手術はうんとお金がかかりますか?」患者が訊いた。医者、微笑みながら曰く、「あゝ、その問題ならあなたの跡取りの方に安心してお任せなさい。」

Der Patient sagt zum Arzt: „Herr Doktor, ich bin so
wahnsinnig aufgeregt. Das ist meine erste
Operation!“ Daraufhin meint der Arzt: „Ich kann Sie
so gut verstehen. Mir geht es genau so.“

患者が医者に訴える、「先生、私は今とても興奮しています。手術を受けるのはなにしろ初めてなので…。」医者応えて曰く、「よく分かりますよ。実は私も、あなたと同じように初めてなので…」 GKK

岩崎透氏によるブラジル東山農場のお話を聞いて

中沢 夏樹氏



岩崎透氏（中）と中沢夏樹氏（左）藤野満氏（右）

ブラジルで 90 年の歴史を持つ東山（とうざん）農場は、日系人や日系企業駐在員の間でよく知られた存在である。三菱ゆかりの場所であるだけでなく、お米や醤油、お酒など身近な製品を作っており馴染みが深い。近年ではNHK テレビの「ハルとナツ」の舞台となったことでも話題を呼んだ。

駐在その他で 6 年間ブラジルに暮らした筆者の体験も含め、お話に出たいいくつかのポイントに触れてみたい。

●遠い

確かにブラジルは地球の反対側。アメリカ、欧州などどこを経由しても実質搭乗時間は 24 時間前後となる。最近では値段が手ごろなこともあり、エミレーツ航空やトルコ航空など中東経由の便にも人気があるようだ。

●広い

日本の 23 倍ある国土はともかく広い。あまり高い山が無くなだらかな地形もあって、バスなどで何時間も車窓の景色が変わらないことはよくある。なお鉄道はほとんど無いので、移動は長距離バスが普通、バスの路線網は充実している。

●美味しい

ブラジルもラテンの国としてグルメ優先度は高く、食べるものは大体美味しい。特に各種の肉のバイキングであるシュラスコは有名。その他、トロピカルフルーツも豊富で、これらのジュースやアイスクリームは濃厚で実に美味しい。

東山農場ではブラジル製の日本酒「東麒麟（あずまきりん）」を古くから製造しており、この一杯で日本を偲んだ駐在員も多かったことだろう。最近はお酒を使ったカクテルも好評を博しているとのこと。

●つじつまが合う

ここ最近、ワールドカップとオリンピックという大イベントをたて続けに開催したブラジル。いずれも準備段階では色々危惧されながら、結局見事に本番はやってのけた。途中ドキドキさせながら最後は何とか帳尻を合わせるの、この国の特技、得意技ともいえようか。筆者も駐在時代に仕事上何度も経験した実感である。2014 年の滞伯中、ワールドカップの日本戦（対コートジボアール）を観戦する機会があった。外形は綺麗に仕上がったレシーフェの競技場のトイレは所々断水していたが、誰も気にする人はいなかった。

●ニッポンがある

1908 年に始まった日本人のブラジル移民は現在 6 世が生まれるまでとなり、約 160 万人と世界最大の日系人集団が形成されている。日系人の活躍は社会各層に渡っており、最近ではカリスマモデルや TV タレントも輩出している。また農業分野での貢献は昔からよく知られるが、これに加えて企業人として活躍する日系人も増加している。

もとより彼らは“ブラジル人”であるから、昔ながらの“義理・人情”を期待することは難しい（日本自体とて同じ？）として、「気配り」や「恥を知る」日本的 DNA はしっかり継承している人が多い。何より今、ブラジルで日本および日本人の評価と信用度が高いのは、日系人の方々の永年の労苦と勤勉、正直などの資質によるところが大きい。

現在も多くの日系人が NHK の国際放送を熱心に見るなど、まだまだ日本に対する思い入れは熱い。我々日本人も地球の最も遠くにあるニッポンに、もう少し関心の目を向けてもいいのではないだろうか。



写真：

（左）中沢氏ご夫妻、松野会長と講師

（下）懇親会



パイロイト音楽祭の申し込み！

4回目で当選しました！

会員 中嶋照夫

Wilhelm Richard Wagner: ワグナーはブルックナー、マーラー、R・シュトラウス等に影響を与え、後期ロマン派の総合芸術「楽劇」(Musikdrama)として「ニーベルングの指環」を35歳の1848年から61歳の1874年に掛けて完成させた。演奏時間 計15時間、4つの楽劇からなる。7日間(演奏は内4日間)。ドイツのパイロイトにある祝祭劇場で毎年夏期だけ行われ、ワグナーの演目のみが演奏される。世界一、コンサートチケットの入手が困難な事でも有名です。10年連続で申し込んでも当選する可能性は少ない・・・。



(2016年下見に行ったとき劇場を背景に筆者)

まだ、私が若い20歳の頃、学校の部室で夏休み、大音量でワグナーのオペラを聞いた。曲名は忘れたが、何故か感極まって涙が留まらなかった、と記憶している。それから月日は流れ、定年前に「あのオペラを生で一度聴きたい!」と考えるようになり、ワグナー関係の資料を調べた。あまりにも壮大で気の遠くなるオペラだから、里中真知子の漫画本を読み、本も読み、そして12枚組みDVDを何度も聞いた。でも物足りなかった。そこでドイツ語の勉強を始めたが進まなく湘南日独協会のドイツ語講座に入り勉強した。まさに60の手習いだ。パイロイト音楽祭の申し込み方法がわからなくネットで教わり、手紙をパイロイト祝祭音楽祭劇場ビューローに熱く思いを書いてみた。数週間後に返事が来た。(与えられたID番号100万代であり、ネットではチケットはパイロイト祝祭音楽祭の後援会の取り分を引いた残りの1/3が一般用。) 当時は郵送のみの受付で、申し込み期限が9月中旬だった。毎年申し込むことでカウントされている噂もあり、毎年夏期下旬に演奏演目とスケジュール等の申し込み用紙が送られて来て毎年毎年! 申し込んだ! 最近は郵送ではなくネットでただクリックするだけ(何の返事もなく届いているのか? 今年も無理なのか分からなく!) の4年。(2013年から申し込みを開始

し、2016年に当選した。) 連続して申し込んでから10年かかると! 言われていたが、何故か、今回(2016年)は申し込みに対してパイロイト祝祭劇場ビューローのワグナーの子孫であるカタリーナー・ワグナーから申込みに関する問い合わせがメールで4回もあった。時差もあり、いつも酔ってるときだ。メールでの返答をした。でも諦めて、昨年11月パイロイトに行ってみた。現地では英語ではなく、すべてドイツ語で(本当は上手くは通じなかった)。パイロイトの街を把握するためできる限り歩いた。ワグナー博物館では私が熱心に見聞きしていたから。館長らしき人にたいそう気に入られ親切に教えてくれた。あまり親切にされたので、何通もの申し込み用封筒を見せて、どうにかならないかと! 思ったが、不正はないみたいだった。そして、もう来られないだろうと『さよならパイロイト!』と呟きながら日本に戻った。その後昨年12月24日のイブの日にパイロイトから手紙が届いた。開封したらどう考えてみても当選してるみたいだ!



(左手紙の束 右この夏のプログラム)

『ニーベルングの指環』4夜 演奏時間計15時間。
毎日毎日でないにしろ夕方17時~23時30分過ぎまで4夜。示導動機(Leitmotiv)で表現された音楽はドラマの進行に応じて(登場人物の心まで)音の強弱、速度、表情、奏でる楽器等で微妙に音が変化し、何度聴いてもそのたびに新しい発見がある。眠気と暑さとトイレと木製椅子に耐えられるかな。でも行ってきます。!

Deutsche Witze

„Konnten Sie nicht früher kommen?“ fragt der Arzt vorwurfsvoll. „Die Sprechstunde ist längst beendet.“ „Tut mir aufrichtig leid“, erwidert der Patient. „Aber der Hund hat mich nicht früher gebissen.“

医者が非難するように言った、「もっと早く来られなかったんですか? 診察時間はとっくに終わっていますよ。」「本当に申し訳ございません。」患者は答えた。「でも、犬がこれより早く噛みついてくれなかったものですから。」 GKK

ブレーマーハーフェン 志賀トニオ氏



私がお届けする劇場便り、早くも記念?の5回目となりました。

今回はやや玄人的なテーマ“演目”についてです。1年間のシーズン中に上演される演目は、その劇場の価値や様々な事情を表す鏡のような存在です。

さっそくブレーマーハーフェンの今シーズンのオペラ部門の演目を見ていきましょう。

ドラキュラ (ミュージカル)、さまよえるオランダ人/ワグナー、こうもり/シュトラウス、ピーターマンと放火犯 (ドイツ初演の現代曲)、Lend me a tenor (オペレッタ風ミュージカル)、仮面舞踏会/ヴェルディ、ヴァネッサ/バーバー (20世紀に書かれた現代曲)。この7曲の中で皆様がご存じな曲は何曲あったでしょうか?特に有名なのは、さまよえるオランダ人とこうもり。少しくラシックに精通した方ならヴェルディの名曲、仮面舞踏会。ドラキュラはもちろん話としてはご存知かと思いますが、そのミュージカルとなるとどうでしょうか。そして他の3曲はプロの我々でもまず知らないマイナーな曲です。つまり、上記最初の4曲はある程度客が入る事を計算出来る安全パイ。後の3曲は採算を度外視した冒険曲なのです。特にこの劇場では、今の支配人が来てから毎年2曲の現代曲を上演するのが伝統になっています。毎シーズン、その2曲は客足が悪く、なのにどうしてその伝統を守ろうとしているのか私も疑問に思っていました。1昨年の事です、ヴッパータールの劇場で某日本人の方がドイツの歴史上初めて総支配人になり、シーズンの演目に有名曲だけを並べた事をメディアに痛烈に非難されていました。こんなに斬新さに欠けるつまらない演目はありえないと。ブレーマーハーフェンの劇場は今シーズンと昨シーズン2年続けて、それぞれ別の団体から、そのシーズンの最も優れた劇場の一つとして賞を頂きました。そしてそこで評価されたのが、上演レベルの高さと、“上演演目の斬新さ”だったので。つまり、斬新な演目を並べる事によって、田舎町の小さな劇場であるブレーマーハーフェンがメディアから注目を集め、存在価値を高めていたのです。しかし、そのような冒険はあくまで財政的余裕がなければ

できません。劇場が公共の施設として大部分が税金で賄われているおかげと言えるでしょう。

その財政事情もドイツ国内で州によって様々で、特に旧東ドイツの幾つかの劇場は、どうしても採算重視で有名曲に偏った演目になってしまっている事を付け加えておきましょう。

さて、ではその演目が我々の仕事の現場にどのような影響を及ぼすか見ていきましょう。

ここの劇場では現代曲のための高いソルフェージュ能力、それからミュージカルのためのジャズやポップスの知識や感性が要求されます。特に歌手は加えてドイツ語力、演技力、ミュージカルでは踊り、タップダンス、英語力、ミュージカル用の歌唱法等、様々な能力が要求されます。その一方でワグナーまで歌うわけですから、かなりマルチな能力とタフさが必要です。それに対してミュンヘンやベルリンのような大きい劇場では仕事内容が異なってきます。全体として言えるのは規模が大きい分、役割分担がはっきりしています。例えば、ドイツ語ができなくても、イタリア語ができればイタリア物専門、ワグナー等の大物専門、現代曲専門等。そしてブレーマーハーフェンとの大きな違いは再演演目の多さです。劇場によってはプレミエが5曲程度で、あとは再演が10曲程度だったりします。ちなみにミュンヘンでは何十年も前の魔笛やばらの騎士の舞台演出を今でも上演していて、その有名な舞台を見たいがために観客が訪れます。ミュンヘンでは例年プレミエが8曲前後、再演が10数曲ありますから、ざっとオペラだけで20曲上演しています。再演の曲は短い練習時間しか取りませんからコレペティトアとしては、すでにキャリアをある程度積んでこれらの曲をレパートリーとして持っていなければなりません。歌手も同様で、すでにその曲を何度も歌った事がないと参加する事はできません。オーケストラもある難曲のばらの騎士をほぼ暗譜で弾いていますから。



「ドラキュラ」の舞台

第18回定時総会報告

収入の部

区分	16年度決算額	17年度予算額
----	---------	---------

1、会費収入等

前期繰越金	500653	870075
入会金	14000	20000
年会費	373500	370000
寄付金	*15000	0
利息	5	0
合計	903158	1260075

2、事業収入

例会	1037000	1000000
ドイツ語講座	1977912	1850000
SWS	166864	150000
SAS	71000	50000
事業費	0	0
合計	3252776	3050000
収入合計	4155934	4310075

支出の部

区分	16年度決算額	17年度予算額
----	---------	---------

1、運営経費

会報作成費	111336	150000
通信費	91362	100000
事務用品費	58723	100000
事務局経費	169125	200000
諸雑費	40426	41000
事業費	0	**300000
その他	15998	0
合計	486970	891000

2、事業経費

例会	952142	1000000
ドイツ語講座	1721506	1830000
SWZ	83885	85000
SAS	26356	30000
合唱団育成費	15000	15000
合計	2798889	2960000
支出合計	3285859	3851000
差引余剰金	870075	459075

注*寄付金(西澤氏、岩崎氏より)

**20周年事業関連

(1 ページの続き)

会長挨拶では、16 年度活動での例会等の円滑な運営、SWZ、SAS、ドイツ語講座が引き続き順調な推移を見せていることに対する会員への感謝と 20 周年を迎え、なお一層会員間の交流の活性化へ向けて、会員からの意見・協力を求める発言がありました。

2016 年度決算、2017 年度予算については左表をご参照下さい。2018 年度は、当協会の創立 20 周年の記念の年となり、記念事業準備のための今期予算が計上されています。

役員人事につきましては、吉田理事が理事をご退任顧問に就任されること、小田理事からは体調に鑑み再任を望まれないことが会長より報告があり、新体制の発足となりました。お二人に対する会長からのお言葉です。

吉田克彦様

1998 年 11 月の本協会設立時には中心的立役者として力を尽くされ、爾来、理事として当協会の発展に多大な貢献をなさいました。この度、健康上の理由で理事を退きたいとのご希望により、今後は顧問として協会活動に助言いただくことになりました。

小田武司様

2011 年 7 月に当協会に入会され、理事として当協会の業務遂行に献身的にご尽力下さいました。2015 年の夏、病に倒れられ、全快まで理事の任を辞したいとのご希望がありました。

協会会員一同、お二人のご功績を深甚の感謝をもって讃えつつご全快を祈念申し上げるとともに、更なるご協力を期待しております。(会長 松野)

映画会

総会終了後は戦前のドイツ名画と言われている「会議は踊る」。解説は長年映画解説で有名な吉田克彦氏(今回顧問就任)。名解説に皆さん聞きほれておられました。



編集後記

- ご寄稿多く感謝しています。8 ページになりパラエティーに富んだ内容を楽しんでください。
- ドイツ語講座に新しいコースが設けられました。初めての方もどうぞ、お待ちしております。
- 会報発送のお手伝い大歓迎です！(大久保)